

これまでの活動経緯及び今後の運営方針について

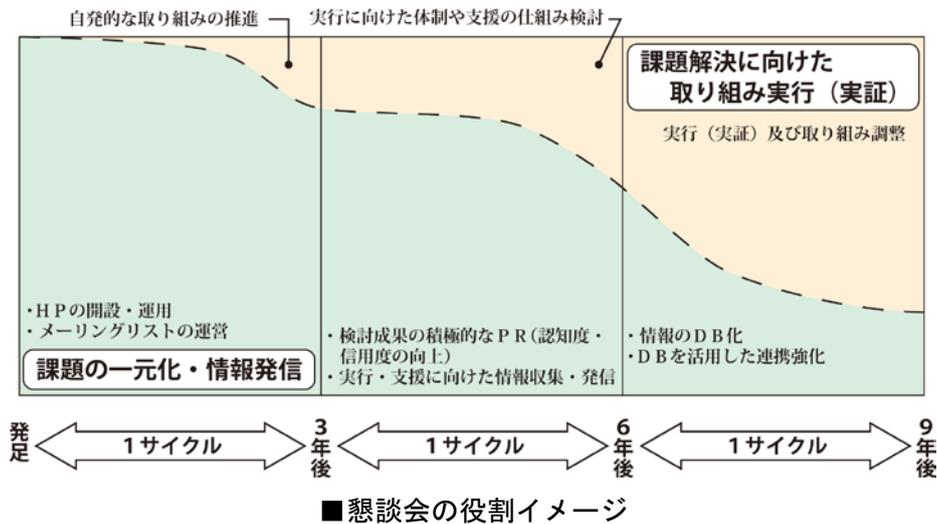
1. これまでの成果と達成目標について

(1) 懇談会の目的

- 矢作川流域圏に関係する各組織のネットワーク化を図る
- 流域圏一体化の取り組み及び矢作川の河川整備に関わる情報共有・意見交換を図る

(2) 懇談会の運営方針

- 懇談会は、3年1サイクルで総括を行いながら運営
- 当初3ヶ年では「組織化と情報共有・一元化」を重視
- 次のサイクルからは「課題解決に向けて取り組み実行（実証）」へシフト



(3) これまでの成果と当初3ヶ年の到達目標

平成22年度	①矢作川流域圏における課題の整理により、参加者の情報共有が進展 ②水をキーワードに、民・産・学・官が同じテーブルに着く組織が設立され、継続化 ③市民自らの提案により、自主的な活動（ワーキング）の提案も提起 ④ホームページやメーリングリストによる情報発信・共有の開始	成果
平成23年度	①お互いの立場の違いを認識した上で、矢作川流域圏全体の問題点・課題を共有する ②山・川・海でまず検討したい（大きな）課題を抽出・整理し、解決に向けた手法を検討する	成果
平成24年度	①具体的な解決策の検討や課題解決に向けた行動につなげ、当初3ヶ年の総括を行う（流域連携による検討のしくみをつくる）	目標

2. これまでの活動経緯

(1) 平成 22 年度の活動内容

- 設立総会開催（8/28）後、地域部会（1回）、市民会議（2回）開催
- 勉強会として、山・川に関する座学を各1回開催

① 地域部会・市民会議での開催内容

● 第1回市民会議（11/6開催）

矢作川流域圏の思いと課題の共有

- 矢作川流域圏に関わる課題の抽出・整理
- 勉強会の開催方法の確認



● 第1回地域部会（1/26開催）

まず検討したい（大きな）課題の抽出

- 各部会2～3個の課題を抽出（今後、再検討）

山部会：人に関わる課題／森に関わる課題

川部会①：川と地先の関係／川全体の理解／
上下流の問題

川部会②：流域内の情報共有・連携強化／
川とまちづくりの連携強化／
生物の生息場所の確保

海部会：土砂管理（干潟の保全・再生）／
海側からみた水量・物質量の把握と確保／
ゴミの減量・不法投棄の対策



● 第2回市民会議（3/13開催）

まず検討したい（大きな）課題について

課題の相互関係を理解する「見える化」（案）の作成

- 山・川・海に分かれて議論
- 具体的な展開論まで議論できず（今後、再検討）



② 勉強会の開催内容

- 山地域では流域の山と散村の現状・
問題点を整理し、出発点を共有
（12/17開催）

- 川地域では矢作川本川の見方の解説
や活動団体の活動内容を情報共有
（3/4開催）



(2) 平成 23 年度の活動内容

- 平成 22 年度後から引き続き、市民会議、地域部会を各 1 回開催
- 勉強会については、フィールドワークの場として 3 回・座学を 1 回開催
- 市民主導の運営にシフトするため「市民企画会議 (WG)」「意見交換WG」を新設
- 地域部会を山・川・海部会で各 1 回開催 (合同+個別議論)

① 「市民企画会議 (WG)」の新設により、市民主導の運営にシフト

懇談会設置 1 年目にして、市民・活動団体の減少を招いたことから、議論する時間を十分にとるとともに、市民が自発的に参加するような面白い会議にしていく必要がある。そのため、市民自らが現地を見て学び、意見交換を行うことを通じて、問題や課題を自ら提案できるような市民企画会議 (WG) を新たに設置した。



また、山・川・海部会に分かれて有志が自由に意見交換できる「意見交換WG」も設置した。

- 市民企画会議は概ね 1 回/月ペースで開催するものとし 5 回開催
- 意見交換WGについて、山・川・海部会ごとに各 4～5 回開催

② 「勉強会」を流域連携につながるフィールドワークの場として活用

これまで座学を中心に実施してきた勉強会について、フィールドワークの場として活用することで、山・川・海に関わる人が流域圏全体の問題点・課題を共有した。さらには、現地を一緒に見て意見交換をすることで人のつながりをつくり、流域連携の活動へのきっかけをつくった。



- 第 3 回: 「海」の現状を知る見学会 (7/2 開催)
- 第 4 回: 「山」の現状を知る見学会 (8/27 開催)
- 第 5 回: 「山・川・海」を知る 2 日ツアー (9/23～24 開催)
- 第 6 回: 今後の河川事業を学ぶ会 (12/12 開催)

③ 「市民会議」は市民企画会議・勉強会の活動成果を積極的に活用

今年度の市民会議は、山・川・海地域の進捗状況へ配慮すること、話し合いの時間を十分確保することを念頭におき開催した。

市民会議では、市民提案としてとりまとめた「まず検討したい大きな課題」と、「課題の解決に向けた展開方法」の 2 つを検討した。

- 第 3 回市民会議 (11/26 開催)



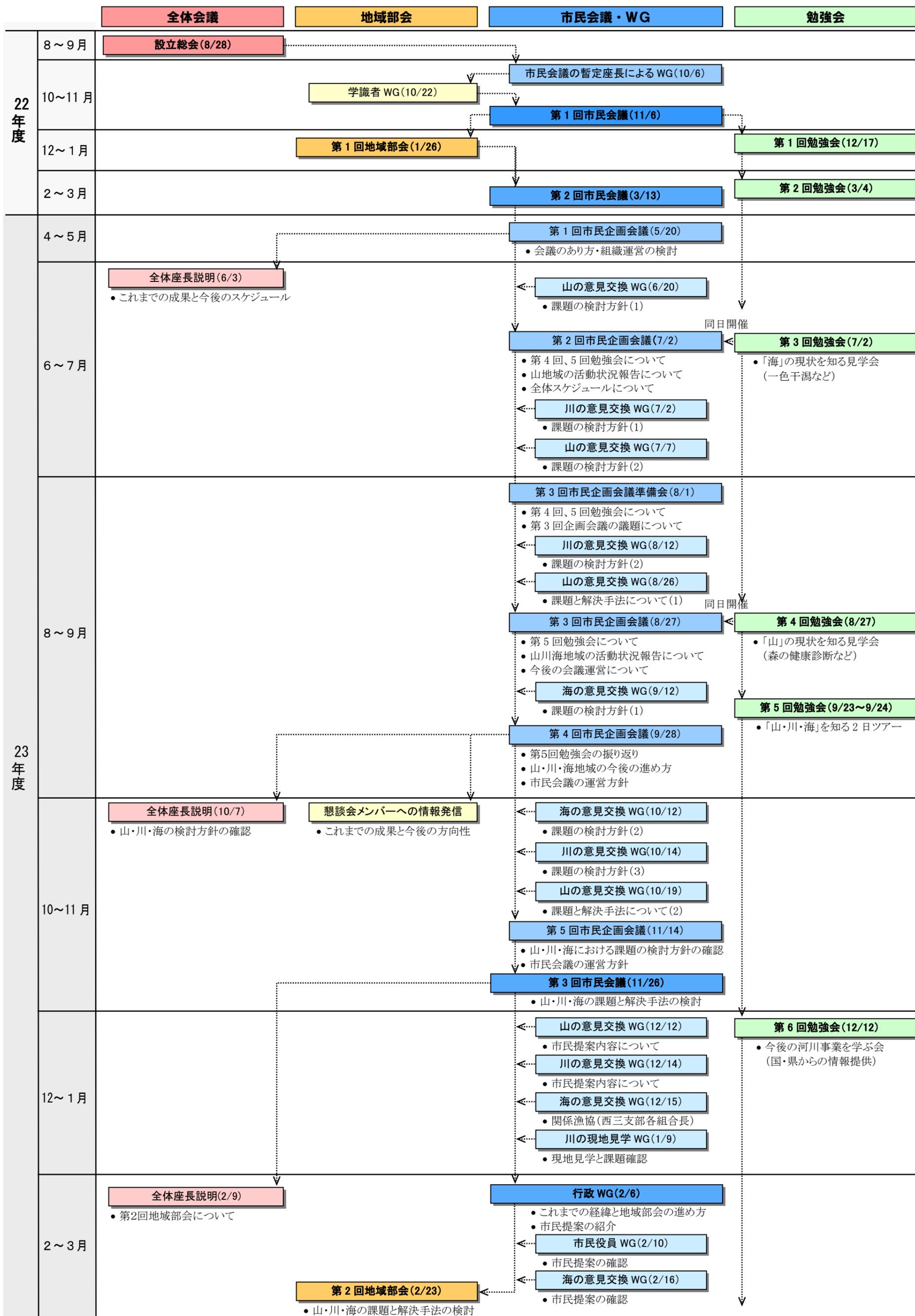
④ 「地域部会」にて課題の解決手法と検討体制を明確化

地域部会では、市民、行政、関係団体、学識者が課題とその解決手法を共有し、課題解決に向けた取組みを実行に移すための組織として部会 WG を立ち上げることで合意した。

- 第 2 回地域部会 (2/23 開催)



●:各会議の検討(実施)内容



3. 平成24年度の運営方針

(1) 平成24年度の運営方針

- 部会別に個別のワーキングを新設し、官民連携を強化する
- 市民企画会議については、今年も継続的に実施
- 3年1サイクルの最終年として全体会議でこれまでの成果を総括する（2回開催）

① 「部会別WG」の新設により、官民連携を強化

第2回地域部会の結果を受けて、それぞれの部会が抱える課題の具体的な解決手法の検討や取組みを行う母体として地域部会の下部組織として部会別WGを設置する。

部会別WGには、市民、行政、関係団体、学識者のうち、有志が集まり、それぞれできることを話し合い、連携して取組みをおこなっていくものとする。

→ 部会別WGは、山・川・海部会ごとに別々に、開催予定

→ 基本的にフィールドワークと話し合いをセットにした会議設定を予定

② 市民企画会議は今年も継続実施

これまで市民が中心となって自主的に開催してきた市民企画会議について、今年度も継続的に実施する。

運営については、昨年を引き続き、市民有志が中心となって行っていくものとする。

→ 山・川・海地域合同で、年5回程度開催予定

→ 勉強会については、市民企画会議と同時開催として4回程度開催予定

③ 3年1サイクルの最終年としてこれまでの成果を総括

H24年度は3年1サイクルの最終年として、これまで懇談会で検討してきた成果を総括するため、全体会議を開催する。

また、取組みの総括を行うために、昨年同様、市民会議、地域部会も合わせて開催する。

→ まず、H24年度の具体的な取組み方針を調整する場として全体会議を開催

→ 市民会議や地域部会の中でH24年度の取組み状況を報告・確認

→ 年度末に、3ヶ年の総括と次の3ヶ年の取組み方針を調整する場として再度、全体会議を開催

	全体会議	地域部会	市民会議	勉強会
23年度	3月		● 第6回市民企画会議(3/15)	
	4月	● 海の部会別 WG(4/21) □ヨシ植え(干潟・ヨシ原再生) ● 山の部会別 WG(根羽)(4/28) □根羽村森林組合		凡例 ● 終了 ○ 開催決定 ○ 調整中
	5月	● 山の部会別 WG(準備)(5/9) ● (川)家下川モデル第1回WG(5/18) □現地視察+活動方針の確認 ● 山の部会別 WG(岡崎)(5/19) □岡崎森林組合	● 第7回市民企画会議(5/25) □取り組み方針の確認	
	6月	● 山の部会別 WG(準備)(6/7) ● 山の部会別 WG(恵那)(6/16) □恵南森林組合 ● (川)本川モデル第1回WG(6/23) □現地視察+活動方針の確認	● 市民会議海部会(6/9) □奈佐の浜海岸清掃へ参加(井上海部会長)	
	7月	● 海の部会別 WG(準備会)(7/5) □今年度の運営方針の確認 ● 海の部会別 WG 現地調査(7/7) □三河湾環境再プロ「海の観察会」参加 ● 山の部会別 WG(豊田)(7/7) ● (川)家下川モデル第2回WG(7/15) □対策手法の検討または実証	● 第8回市民企画会議(7/22)	● 第7回勉強会(7/22) □(座学)土砂管理(第1回)
	8月	○ 第1回全体会議(8/3) □H24年度の取り組み方針の調整 ○ 海の部会別 WG(8/12) □水辺アクセス調査 ○ (川)本川モデル第2回WG(8/23) □対策手法の検討または実証 ○ 山の部会別 WG(根羽・平谷)(8/24・25)		○ 第8回勉強会(8/6) □(座学)土砂管理(第2回)
24年度	9月	○ 海の部会別 WG(9/8) □21世紀奈佐の浜PJ委員会(ゴミ) ○ (川)本川モデル第3回WG(9/21) □対策手法の検討または実証	○ 第9回市民企画会議(9月上旬)	○ 第9回勉強会(9月上旬) □市民山部会担当
	10月	○ (川)家下川モデル第3回WG(10/26) □対策手法の検討または実証 ○ 山の部会別 WG(岡崎)(10/26・27) ○ 第3回海の地域部会(10月下旬)		
	11月	○ 第3回山の地域部会(11月上旬) ※森の健康診断報告会后 ○ (川)地先の課題第1,2回WG □2日間バスツアー(現地+話し合い) ○ 山の部会別 WG(恵那)(11/16・17) ○ 海の部会別 WG	○ 第10回市民企画会議(11月下旬)	○ 第10回勉強会(11月下旬) □市民川部会担当
	12月	○ 第3回川の地域部会(12月上旬) ○ (川)家下川モデル+本川モデルWG ○ 山の部会別 WG(豊田)(12/14・15) ○ 海の部会別 WG	○ 第4回市民会議(12月中旬) □H24年度取り組みの中間報告	
	1月	○ 山の部会別 WG(根羽・平谷)	○ 第11回市民企画会議(1月上旬)	○ 第11回勉強会(1月上旬) □市民海部会担当
	2月	○ 第4回地域部会(2月上旬) ※山・川・海で合同開催 ○ 第2回全体会議(2/18) □3ヶ年の総括 □H25年度以降3ヶ年の運営方針の調整		

(2) 懇談会全体スケジュール(事務局案) ※部会別WGは必要に応じて回数を増加予定